

ふだんのくらしのしあわせ

 社協だより Vol.127

令和3年9月号



中学校での赤ちゃんふれあい体験

お知らせ

- ・社会福祉協議会会費へのご協力ありがとうございます
- ・みんなとあそぼう！！ひよこのお知らせ
- ・すぎのこ作業所 ありがとうメッセージ
- ・配食サービスの協力事業所を募集します
- ・『みんなが誰かのために』～寄付をくださったみなさま
- ・令和2年度 事業・収支決算のご報告



不織布マスク寄付



学校募金より



赤い羽根募金



赤い羽根募金



食料支援(米)

食料支援(米)

令和2年度 事業報告

下田市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図るため、令和2年度事業計画に7つの重点目標、①地域福祉活動の推進、②生活困窮者自立支援事業(日常生活自立支援事業)の推進、③生活支援体制整備事業の推進、④成年後見事業の推進、⑤介護保険事業の安定的な運営と介護サービスの向上、⑥指定管理受託施設(下田市総合福祉会館)の適正な管理運営、⑦健全な法人(財政)運営の確立を掲げ、また10の「主要事業」を定め、地域住民と各種関係団体等との協働により地域福祉事業を実施しました。その実施内容は次の通りです。

I 法人運営事業

1. 会費の納入状況

(1)普通会費(年額 一世帯 500円) 2,918,500円
(2)賛助会費(年額 一口 1,000円) 97,000円
合計 3,015,500円

2 寄付金

(1)善意銀行(総預託件数 9件)
(2)金銭預託 1件 30,000円
・物品預託(新型コロナウイルス感染症を予防するための不織布マスク、布マスク、除菌用の物品の寄付)
善意銀行計 30,000円

(3)社会福祉協議会への一般寄付(総寄付件数11件)
・金銭寄付 7件 296,000円
・物品寄付 4件 16,352円(切手・はがき 16,352円)
一般寄付金計 312,352円

II 地域福祉活動推進事業

1 社会福祉大会事業

(1)下田市社会福祉大会及び下田市社会福祉協議会会長表彰例年、地域住民がともに福祉について考える機会として下田市社会福祉大会(主催:下田市社会福祉協議会)を開催し、下田市社会福祉協議会会長表彰の授与を行っているが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、表彰式のみを執り行った。
<開催日時> 令和2年12月14日(月)
<開催場所> 下田市総合福祉会館教養娯楽室
<下田市社会福祉協議会会長表彰被表彰者(敬称略)>
① 小川裕司(保護司) 表彰規程第2条第1号

(2)静岡県健康福祉大会

令和2年10月28日、しずぎんホールユーフォニアにおいて開催予定だったが新型コロナウイルス

感染症拡大防止のため中止となり、表彰については郵送による表彰状と記念品の授与のみとなった。<社会福祉功労表彰(県社会福祉協議会会長表彰)被表彰者(敬称略)>
①たんぼぼの会柿崎健康教室 社会福祉事業協力者

2 下田市地域福祉活動計画事業

令和2年度から5カ年計画『第4次下田市地域福祉活動計画』が始まりました。本来であれば下市内各地区にて住民による話し合いを継続的に行い、課題解決や住民活動の支援を行っていく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、住民懇談会の開催はやむなく中止となりました。尚、白浜地区から懇談会への参加要請をいただき、5週にわたる懇談会へ参加しました。

尚、コロナ禍での地域活動における感染予防の一助として、関係ボランティア団体等へマスクや消毒液等の感染予防対策グッズを配布しました。

(1)白浜地区懇談会への参加

開催日	参加者	内容
11月24日	17名	夏場の状況における課題と対策
11月30日	16名	重点課題の絞り込み
12月7日	14名	協力者の仕分けと段階づけ
12月14日	16名	スケジュールと予算
12月21日	15名	次年度の事業計画

(2)『第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画(概要版)』作成・市内全世帯各戸配布

(3)新型コロナウイルス感染予防対策グッズの配布

配布時期	配布物
6月	不織布マスク・布マスク
2月	非接触体温計、手指消毒液、不織布マスク、除菌剤、布巾、予防チェックシート

3 生活支援体制整備事業

主に高齢者を対象に、地域での支え合いや健康づくり・介護予防の取組みの支援、生活支援サービスの充実に取組み、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく日常生活を営むことが出来るよう、様々な機関と連携して医療・介護・福祉が一体となった地域づくりを目指します。

(1)生活支援・介護予防協議体の運営

①協議体会議・研修の開催

開催日	内容
7月14日	前年度協議体の振り返り。今年度の方針について
11月30日	移動支援セミナー事業、運転ボランティア養成研修について
12月15日	自動運転実証実験への参加
1月22日	情報通信技術(ICT)を活用した買い物支援・移動支援について
2月22日	買い物支援・移動支援等、各事業の進捗状況について

②移動支援セミナー

静岡県ふじのくに壮年熟期活躍プロジェクト(下田市地域包括センター受託)協力

開催日	日時	内容
第1回	10月15日	地域住民の支え合いによる移動支援のしくみづくり
第2回	11月20日	
第3回	12月10日	
第4回	1月21日(新型コロナウイルス感染拡大により中止)	

4 地域福祉活動推進事業

(1)小地域福祉活動推進事業

①小地域福祉活動の支援

高齢者サロン活動などの居場所・サロン活動に対して、活動を推進するため、状況把握と活動支援を行い、新たな活動を生み出すために活動希望者に対し、立ち上げを支援しました。

名称	助成金額	主な活動内容
東本郷居場所 さくらの会	24,000円	・体操、茶話会、出前講座他 ・月1回、東本郷区集会所にて活動
横川シルバーロマンクラブ	24,000円	・認知症予防、会食会他、バス旅行(年1回) ・毎月20日に横川集会所にて活動
河内(ほほ笑みの会)	24,000円	・体操、歌他 ・毎週月曜日に河内公会堂にて活動
白浜さちも会	20,000円	・体操、茶話会、歌他 ・毎月第1、第3水曜日に白浜公民館にて活動
れんげの会	24,000円	・体操、茶話会、出前講座他 ・月1回、大賀茂2組公会堂にて活動
目金花の会	24,000円	・体操、茶話会他 ・月1回、稲梓アダブタロードにて活動
にこここ会	24,000円	・毎月第2、第4水曜日に稲沢公民館にて活動 ・体操、歌、出前講座他
板戸さわやか会	24,000円	・毎月第1、第3木曜日に板戸集会所にて活動 ・体操、脳トレ、茶話会他

(2)地域福祉活動計画推進事業

①子育てサロンの実施(未就学児と保護者を対象)

<目的>

子育て家庭の育児不安の解消を目的として親子の交流の場の提供や子育て相談等を毎月1回行いました。(新型コロナウイルス感染症の影響により、4~6月は中止)

◆ひよこサロン(固定型)

開催日	参加者
7月16日(木)	8名
8月20日(木)	10名
9月17日(木)	26名
10月15日(木)	24名
11月19日(木)	16名
12月17日(木)	8名
1月21日(木)	17名
2月18日(木)	12名
3月18日(木)	16名
延参加者 137名	

*『ひよこサロン』

子育て中のお母さん方(保護者)の交流の場、情報交換の場、子供同士の交流の場として自由に遊べる居場所をボランティア団体「しもだ子育て応援隊「ぼっぼ」」の協力のもとに開催しています。

◆ひよこサロン(移動型)子育てサロン

開催日	主な活動内容	参加者
6月13日(土)	下田わくわくパーク「これば!」	2組
朝日公民館	おうち時間で本を読もう	5名
	未就園児向け移動図書館	
7月11日(土)	下田わくわくパーク「これば!」	11組
まどが浜海遊公園	竹のうちわ作り体験&プラバン体験	27名
9月12日(土)	下田わくわくパーク「これば!」	40組
下田小グランド	「かけっこ講座」	52名
11月21日(土)	下田わくわくパーク「これば!」	17組
下田市民スポーツセンター	カプラで遊ぼう!	41名
12月19日(土)	下田わくわくパーク「これば!」	10組
下田小学校体育館	親子で工作体験&クリスマスのお話し会	23名
1月16日(土)	下田わくわくパーク「これば!」	32組
間戸が浜海遊公園	伝承遊び	89名
3月13日(土)	下田わくわくパーク「これば!」	44組
道の駅開国下田みなと	大型遊具で思いっきり遊ぼう!	126名
		総参加者数 363名

*下田わくわくパーク「これば!」
下田子育て支援ネットワーク(行政、社協、ボランティア団体、子育てママサークルで構成)が主体となり、子どもが地域で自由に遊べる「居場所」、親子の笑顔があふれる「居場所」、地域の人が集まり語り合える「居場所」、そんな居場所づくりを目指して巡回型の居場所づくりを行っています。

②子育て支援事業

子育て支援を行政だけに頼るのでなく市民活動の支え合いを目標とし、子育てのボランティア活動者を育成しました。

◆『ヘルスシェイプ&お母さんのための交流会』

(講師) T.C.Dance Company 宮川幸子氏
・日時/3月29日 オンライン講座
・参加者/子育てボランティア活動者、子育て中の親

③災害ボランティア活動

災害ボランティア本部は被災者と災害ボランティアをつなぐ窓口となるため、日頃から行政や関係団体と協力し、ボランティアが参加しやすい環境づくりに努めています。尚、新型コロナウイルス感染防止として上半期の活動を自粛しました。

内容
(1)市民との避難訓練等
①総合防災アプリ『静岡県防災』を使用した避難訓練 ・開催日時 令和2年11月23日(祝・月)13:00~15:30



福祉教育（見えない生活について）

・開催場所 下田市民文化会館 小ホール
 ・参加者 県賀茂地域局危機管理課、下田市防災安全課、下田市自主防災会、下田災害ボランティアコーディネートの会（計45名）

(2)「下田市災害ボランティア本部」立上げに関する検討会
 令和2年7月18日、発達した梅雨前線の影響等により市内は大雨に見舞われ、土砂崩れや道路の冠水などの被害を受けました。市役所にて被害状況に関する情報収集とともに、下田市災害ボランティアコーディネートの会役員とともに、地域を巡回しました。翌19日に「下田市災害ボランティア本部」立上げに関する準備会を開催し、災害ボランティアコーディネーターと情報共有を行いました。

5 ボランティアセンター事業

(1)下田市ボランティア連絡協議会の運営

下田市のボランティア団体が福祉の向上と明るく住み良い町づくりのため、ボランティア相互間の親睦と連絡、協力を目的として運営している。

- <加入団体数> 28団体（475名）
- <定例会の開催> 年3回（7・9・1月）
- <親睦ハイキング> 9月3日
- <ボランティア入門講座> 11月28日
- <赤い羽根街頭募金実施> 12月16日

(2)ボランティア活動保険等加入手続き

(3)ボランティア活動保険助成事業

継続的なボランティア活動を促進するため、下田市ボランティア連絡協議会加入団体の会員を対象に最低加入掛け金Aプラン（1名あたり350円）のうち、200円を補助しています。

(4)個人ボランティア登録

ボランティア活動の活性化と個別ニーズに対応できるサービス体制の構築を目的としています。
 <令和2年度末 登録者数> 256人

(5)ボランティアセンターコーディネート実績(件数) (単位:件)

福祉講座指導	託児関係	児童関係	イベント補助
23	0	0	0
障害者関係	子育て支援	高齢者関係	合計
0	0	0	23

6 福祉教育実施

(1)市内小中学校総合学習等への協力

学校名	学年	日付	内容
浜崎小学校	5年(17名)	9/25	肢体不自由について
下田小学校	5年(31名)	10/9	視覚障害について
		10/12	高齢者について
		10/19	肢体不自由について
稲梓小学校	5年(17名)	11/9	身体障害について
		11/4	視覚障害について
		11/24	肢体不自由について

福祉教育（車いす体験）

大賀茂小学校	4年(5名)	11/13	肢体不自由について
		11/27	視覚障害について
		12/8	視覚障害について

<場所> 幼稚園、小学校、中学校等 計23回
 <参加人数> 221人

Ⅲ 福祉相談事業

1 生活困窮者自立支援法に基づく事業

(1)自立相談支援事業

生活困窮者の複合的な生活課題について、関係機関との連携支援で包括的に対応しています。

新規相談受付件数	182件
プラン作成件数	10件
就労支援対象者数	5名
就労者数	1名
住居確保給付金利用者数	12名
生活福祉資金貸付制度利用者数	121名

(2)家計改善支援事業

家計状況を「見える化」し、相談者の家計管理と生活再生を支援しています。

相談件数	189件
プラン作成件数	4件
生活福祉資金貸付制度利用件数	121世帯

(3)子どもの学習・生活支援事業

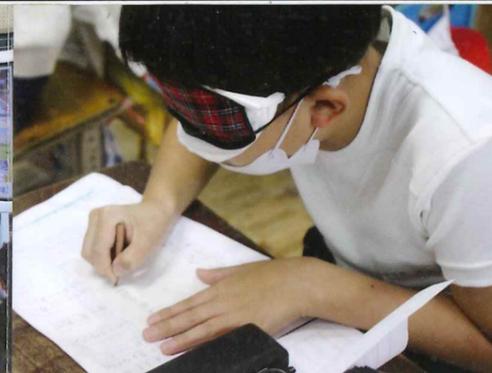
日時	団体数等	金額(円)	
6月17日	小学生2名、学習支援員1名	宿題のサポート・生活相談	
7月15日	小学生3名、学習支援員1名		
8月12日	小学生1名・中学生1名 学習支援員1名		
8月19日	小学生3名、学習支援員1名		
9月16日	小学生3名、学習支援員1名		
10月21日	小学生2名、学習支援員1名		
11月18日	小学生1名、学習支援員1名		
12月16日	小学生2名、学習支援員1名		
1月20日	小学生3名、学習支援員1名		
2月17日	小学生1名・中学生1名 学習支援員1名		宿題・テスト勉強のサポート
3月17日	小学生2名・中学生1名 学習支援員1名		宿題のサポート、理科の実験

2 生活福祉資金貸付制度(静岡県社会福祉協議会から事務受託)

①相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
件数	24	20	17	14	11	12	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	10	8	5	6	14	48	189

・本年度新規貸付件数 121世帯



福祉教育（視覚障害について）

Ⅳ 権利擁護事業

1 日常生活自立支援事業

認知症や知的・精神障がい等により、日常生活を営む上で必要な福祉サービスを自分の判断で適切に利用することが難しい方を対象に、福祉サービスの利用援助を実施しています。

<相談及び契約件数>

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
相談件数	56	209	178	84	527
実働件数	1	8	4	4	17

2 成年後見事業

認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方について、本人の権利擁護を図るため、成年後見制度等に関する相談支援と市民後見人育成を行いました。

(1)法人後見事業の実施

①成年後見制度等に関する相談件数 16件

成年後見制度に関する相談件数	12件
日常生活自立支援事業に関する相談件数	4件
合計	16件

(2)市民後見人育成・普及啓発事業の実施

①市民後見人養成講座の開催（10日間）

<受講者> 賀茂地区在住者13名

科目	
成年後見制度概論・各論	家庭裁判所の役割
市民後見概論	対象者理解
民法	対人援助の基礎
刑法その他の基本法	成年後見の実務
関係諸制度の基礎	就任時の実務
高齢者施策	報酬付与申立て・後見終了時等の実務
障害者施策	

②市民後見人フォローアップ講座の開催（計2回）

日時	内容	参加者
10月16日	死後事務について	19名
3月6日	事例から学ぶ成年後見制度	21名

V 共同募金配分事業

(1)赤い羽根共同募金

赤い羽根募金はご協力いただいた翌年度に使用する計画募金です。平成31年度にみなさまからいただいた募金を以下のように配分しました。

配分先	金額(円)
下田市ボランティア連絡協議会 加盟ボランティア団体活動助成	80,000
福祉教育推進事業	300,000
寝たきり高齢者在宅介護世帯見舞品(介護用品)	230,000
災害ボランティア本部立ち上げ訓練事業	150,000
地域福祉活動応援事業	247,745
下田市老人クラブ連合会	80,000
下田市身体障害者福祉会	80,000



ひよこサロン

ひよこサロン

下田市女性の会	50,000
下田市手をつなぐ育成会	80,000
ガールスカウト静岡県第61団	30,000
遊・VIVA!ネットワーク	50,000
大賀茂ほたる便	30,000
はつらつ健康劇団	30,000
	30,000
下田アイフレンズ	30,000
精神障害者家族会あしたば会	30,000
しもだ子育て応援隊“ぽっぽ”	50,000
賀茂地区里親会	20,000
下田市内青少年育成会（6地区）	90,000
ひなたぼっこ	30,000
わらいの輪	30,000
ここにこ	50,000
&C	50,000
下田小学校特別支援学級5組	20,000
稲生沢小学校特別支援学級	20,000
稲生沢小学校通級指導教室	20,000
下田中学校特別支援学級	20,000
稲生沢中学校特別支援学級	20,000
下田災害ボランティアコーディネートの会	30,000
計	1,977,745

(2)歳末たすけあい

歳末たすけあい募金は、ご協力いただいたその年に配分しています。

区分	件数	金額(円)	備考
歳末生活困窮世帯支援	52世帯	599,600	135名
知的障害・身体障害者(児)高齢者施設入所者見舞金	75名	254,400	
伊豆つくし学園	64名	75,000	クリスマス運営支援
福祉関係団体活動助成	1団体	50,000	すぎのこ作業所
計		979,000	

Ⅵ 受託事業

(1)行旅死亡人慰霊祭

秋季（9月25日）、春季（3月23日）の年2回、伊豆斎場にて関係機関の参列を得て実施しました。

(2)高齢者給食サービス

ひとり暮らしの高齢者等へ配食を行い、利用者の健康維持と安否確認を行っています。

年間延べサービス回数	294回
年間延配食数	2,242食

(3)老人福祉センター運営

地域の高齢者に対して、健康増進・教養の向上のための事業等を供与するものであるが、本年度は新型コロナウイルス感染症防止により利用中止としました。



防災アプリを使用した避難訓練



ポッチャ

絵手紙教室

(4) 家族介護支援

高齢者を介護している家族や近隣の援助者を介護から一時的に開放し、精神的にリフレッシュしていただくことを目的としています。

実施日	内容
5月28日	おたよりの発行
11月26日	小さなお茶会「感染症予防について」
1月20日	認知症介護映画上映会 『ぼけますから、よろしくお願ひします』
3月17日	ポールウォーキングによる健康づくり

(5) 手話奉仕員養成講座(基礎編) / 賀茂地区1市5町
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。

(6) 下田市ファミリーサポートセンターまかせて会員養成講座
① まかせて会員養成講座(基礎講座)
新たに“まかせて会員”への登録を希望する人を対象に、子育てに関する基礎的な知識や技術の習得に向けた基礎講座を開催しました。

日時	参加者	内容
9月2日	3名	〈講義〉 こどもの発達、食事、遊びや接し方等の知識・技術の講習等
9月9日	3名	
9月16日	3名	
9月23日	3名	
9月17日	2名	〈実習〉
10月15日	1名	

② まかせて会員スキルアップ講座
(会員活動の質の維持、向上を図るため)

2月25日	(講座Ⅰ) 幼児応急手当講習会
3月29日	(講座Ⅱ) ファミリーサポートセンター事業について(交流会)ヘルスシェイプアップ&お母さんのための交流会

VII 介護保険事業

1 居宅介護支援事業

要支援・要介護の認定をうけた方々へ自立支援ケアプラン作成・サービス調整を実施しています。(単位:名)

区分	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	※要介護認定調査
年間延利用者数	132	521	470	286	123	73	23

《年間ケアプラン作成数1,605件》

2 通所介護事業 / 下田市デイサービスセンター

要支援・要介護者の自立支援のための入浴・食事などの日常生活上の支援を日帰りサービスとして実施しています。(単位:名)

年間延利用人員	食事サービス(延べ)	入浴サービス(延べ)			
要支援	要介護	要支援	要介護	要支援	要介護
5,449	5,243	3,744			
586	4,863	534	4,709	453	3,291

介護度別登録者数 (単位:名)

要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
6	20	12	12	4	1	55

3 訪問介護事業

要支援・要介護の認定を受けた方々へ身体介助・家事援助を実施しています。(単位:名)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
年間延利用者数	146	791	1,572	1,350	859	111	169

《年間延利用者 4,998名》

VIII 障害福祉サービス事業

(単位:名)

区分	年間利用者数
居宅介護事業	193
移動支援事業	20

IX その他の事業

1 緊急一時的に支援が必要な世帯に対する食料支援(182世帯・764kg)

米の生産者から寄贈をされた食糧(米)を新型コロナウイルス感染拡大により著しく経済的影響を受けた世帯に提供しました。

2 社会福祉法人の(求人)紹介サイトの作成

社会福祉法人の紹介、伊豆の魅力等を発信する(求人)紹介サイト「賀茂地域社会福祉ネットワーク“カモウエル”」を作成しました。

〈ホームページアドレス〉 <http://wel-kamo.net>
〈参加事業所〉 賀茂圏域内の社会福祉法人(19法人)

3 福祉用具の貸与

(単位:件)

車いす	遊具・プロジェクター・輪投等
54	14

◆新型コロナウイルス感染拡大により中止した主な事業

- ・下田市地域福祉活動住民懇談会
- ・下田市総合福祉会館サロン
- ・下田市総合福祉会館体験ツアー
- ・福祉教育<5月~7月、10月~1月>
- ・夏休みボランティア体験学習
- ・小学生ボランティア養成講座
- ・手話奉仕員養成講座基礎課程
- ・下田市ふれあい広場 / 下田市社会福祉大会

令和2年度 一般会計収支決算

令和2年4月1日~令和3年3月31日の一般会計決算は下記の通りです

事業活動収支計算書

(単位:千円)

勘定科目	2年度決算額	元年度決算額	増減
会費収益	3,016	3,059	-43
寄付金収益	342	766	-424
経常経費補助金収益	30,320	29,235	1,085
受託金収益	30,884	31,376	-492
事業収益	2,651	3,030	-379
負担金収益	0	0	0
介護保険事業収益	91,842	97,569	-5,727
障害福祉サービス等事業収益	2,556	2,901	-345
その他の収益	208	208	0
収入計	161,819	168,144	-6,325
人件費(引当金等を含む)	114,196	118,818	-4,622
事業費	22,421	27,906	-5,485
事務費	2,839	3,485	-646
共同募金配分金事業費	3,378	3,310	68
助成金費用	10	196	-186
負担金費用	17	71	-54
減価償却費	2,046	2,226	-180
国庫補助金等特別積立金取崩額	-450	-577	127
徴収不能額	0	0	0
徴収不能引当金繰入	0	25	-25
その他の費用	0	0	0
支出計	144,457	155,460	-11,003
サービス活動増減差額	17,362	12,684	4,678
受取利息配当金収益	2	153	-151
その他のサービス活動外収益	576	719	-143
収入計	578	872	-294
その他のサービス活動外費用	0	0	0
支出計	0	0	0
サービス活動外増減差額	578	872	-294
経常収支差額	17,940	13,556	4,384
施設整備等補助金収益	134	132	2
固定資産受増額	0	0	0
その他の特別収益	494	494	0
収入計	628	626	2
固定資産売却損・処分損	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	134	132	2
支出計	134	132	2
特別増減差額	494	494	0
当期活動収支差額	18,434	14,050	4,384
前期繰越活動増減差額	109,480	99,582	9,898
当期末繰越活動増減差額	127,914	113,632	14,282
基本金取崩額	0	0	0
基金取崩額	0	0	0
その他の積立金取崩額	0	10,964	-10,964
その他の積立金積立額	1	15,117	-15,116
次期繰越活動増減差額	127,913	109,479	18,434

資金収支計算書

(単位:千円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
会費収入	3,045	3,016	29
寄付金収入	705	326	424
経常経費補助金収入	32,650	30,320	2,330
受託金収入	31,441	30,884	557
貸付事業収入	0	0	0
事業収入	4,310	2,651	1,659
負担金収入	0	0	0
介護保険事業収入	100,915	91,842	9,073
障害福祉サービス等事業収入	2,700	2,556	144
受取利息配当金収入	6	1	5
その他の収入	785	575	210
事業活動収入計	176,602	162,171	14,431
人件費支出	133,731	110,331	23,400
事業費支出	30,884	22,405	8,479
事務費支出	4,508	2,839	1,669
共同募金配分金事業費	3,700	3,378	322
助成金支出	119	10	109
負担金支出	72	17	55
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0
事業活動支出計	173,014	138,980	34,034
事業活動資金収支差額	3,588	23,191	-19,603
施設整備等補助金収入	134	134	0
固定資産売却収入	0	0	0
施設整備等収入計	134	134	0
固定資産取得支出	1,192	1,186	6
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0
施設整備等支出計	1,192	1,186	6
施設整備等資金収支差額	-1,058	-1,052	-6
積立資産取崩収入	7,200	0	7,200
その他の活動による収入	0	0	0
その他の収入計	7,200	0	7,200
積立資産支出	4,000	0	4,000
その他の活動による支出	3,485	3,454	31
その他の支出計	7,485	3,454	4,031
その他の資金収支差額	-285	-3,454	3,169
予備費	2,245	0	1,426
当期資金収支差額合計	0	18,684	-18,684
前期末支払資金残高	109,009	109,009	0
当期末支払資金残高	109,009	127,693	-18,684

貸借対照表

(単位:千円)

科目	2年度末	元年度末	増減	科目	2年度末	元年度末	増減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	133,513	115,984	17,529	流動負債	11,687	13,135	-1,448
現金預金	103,490	76,434	27,056	事業未払金	2,316	4,155	-1,839
事業未収金	26,496	34,247	-7,751	その他の未払金	890	906	-16
未収補助金	3,552	5,275	-1,723	未払費用	2,530	1,822	708
立替金	0	53	-53	預り金	108	117	-9
仮払金	0	0	0	賞与引当金	5,843	6,135	-292
徴収不能引当金	-25	-25	0	固定負債	40,628	37,668	2,960
固定資産	84,032	81,931	2,101	退職給付引当金	40,628	37,668	2,960
基本財産定期預金	1,000	1,000	0	負債の部合計	52,315	50,803	1,512
車両運搬具	2,525	3,669	-1,144	(純資産の部)			
器具及び備品	2,108	1,587	521	ボランティア基金	1,000	1,000	0
権利	1,310	1,310	0	国庫補助金等特別積立金	421	738	-317
ソフトウェア	555	792	-237	その他の積立金	35,896	35,895	1
投資有価証券	10	10	0	次期繰越活動増減差額	127,913	109,479	18,434
長期貸付金	0	0	0				
退職手当積立基金預け金	40,628	37,668	2,960	純資産の部合計	165,230	147,112	18,118
基金積立資産	1,000	1,000	0	負債・純資産の部合計	217,545	197,915	19,630
積立資産	34,896	34,895	1				
資産の部合計	217,545	197,915	19,630				

社会福祉協議会会費へのご協力ありがとうございます。

社会福祉協議会は地域のみなさまに支えられ、福祉・保健・介護の関係者やボランティアに広く開かれた民間非営利団体です。地域が抱えている問題や福祉制度の狭間にある課題へみんなで向き合い、地域性を活かしたサービスづくりに取り組んでいます。本年も市内行政区の区長様を通じて、地域の多くのおみなさまが会費として一世帯あたり年額500円をご負担していただき、会員としてご加入くださいました。社会福祉協議会は、地域福祉の取組みにみなさまからの会費も使わせていただいております。これからもみなさまと力を合わせて活動していくために、社会福祉協議会の活動へご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

〈令和3年度 下田市社会福祉協議会一般会費〉合計2,855,620円



みんなと
あそぼう!!

ひよこ

おともだちつくる!

ひよこの
お知らせ



ひよこサロン

おもちゃを用意して皆さんのお越しをお待ちしています。ぜひ遊びに来てください。(未就学児と保護者対象 妊婦の方もどうぞ)

時間：午前10時から11時30分

場所：道の駅開国下田みなと4階 入場無料

※ボランティアによるイベントも開催します(10:30~11:00)

開催日	協力ボランティア団体	イベント内容
9月16日(木)	T.C.Dance Company	親子リズム体操
10月21日(木)	子育て応援にここさサークル	手遊び・読み聞かせ等
11月18日(木)	ECCジュニア白浜教室	読み聞かせ・歌・リズムにのって体を動かす
12月23日(木)	遊・VIVA!ネットワーク	音楽遊び・読み聞かせ・ゲーム



急きょ変更になる場合がありますので、詳細はこちらでご確認ください。

Facebook



Twitter



Instagram



このたび赤い羽根共同募金を配分していただきました。ありがとうございます



『すぎのこ作業所 印刷・製本システムの買替えのため』
金額：1,732,000円

すぎのこ作業所は地域で暮らす障害のある方々の活動の場として、昭和55年に設立されました。正式には「就労継続支援B型事業所」といいます。開設以来40年にわたり、陶芸、木工、手芸、紙製品、印刷などの作業を進めてきました。また、「竹パウダー」製造、介護施設の洗濯業務、介護施設や公共施設の剪定作業など利用者の活動領域の拡大のための努力を続けております。

印刷製本は、当作業所にとって重要な仕事のひとつです。特に製本作業は当作業所の利用者にとっては「得意な分野」の仕事です。現在の印刷機は平成24年度に、当作業所の保護者会の助成で購入しましたが、10年が経過して老朽化が進んでおりました。老朽化によって作業に支障が生ずることとなり、今回共同募金の受配申請をした次第です。新しい印刷・製本システムの導入で、これまで以上に作業へ取り組むことが可能となり、利用者・職員一同大変感謝しております。募金をしてくださった多くのおみなさまの温かいお気持ちを胸に、十分活用させていただきます。改めまして、皆様方の善意に心から感謝いたします。ありがとうございます。



配食サービスの協力事業者を募集します

ひとり暮らしの高齢者等で日常生活の食事の準備が困難な方の自宅へ、夕食のお弁当を調理・配達していただける事業所を募集しています。お弁当の金額、条件など詳細につきましては下田市社会福祉協議会までお問い合わせください。

問合せ先

下田市社会福祉協議会

☎0558-22-3294



「みんなが誰かのために」 (令和3年4月~令和3年8月)

下田市社会福祉協議会へ寄付をくださったみなさまです。ありがとうございます。みなさまの気持ちを大切に活かします。

〈現金〉山田洋子様、稲葉孝一様、下田市指定
水道工事人協同組合様

〈加湿空気清浄器〉静岡トヨタ自動車(株)様

〈プルタブ〉藤井寿夫様、鳥原茂様

〈古切手〉久保田和子様、(有)伊豆紙業様

〈未使用はがき〉※鈴木忠由様

(順不同)

《※お詫び》

先号『社協だより』へ掲載しました、『みんなが誰かのために~寄付をくださったみなさま』に未掲載がありました。心温まるご寄付を頂戴したにも関わらず、不手際があり大変申し訳ございませんでした。今後このような事が無いよう注意いたします。